



難民の友に、難民と共に

アルペ通信 No.7

2023 年 12 月

NPO 法人 アルペなんみんセンター 〒248-0001 神奈川県鎌倉市十二所 80 Tel 0467-55-5422 info@arrupe-refugee.jp
アルペ小金井センター koganei@arrupe-refugee.jp https://arrupe-refugee.jp



9月3日 鎌倉福祉まつり



11月5日 近所の子どもたちと壁画アート作成



毎週土曜日の畑作業の様子



なんみんセミナーの様子

最近のアルペ

2020 年 4 月の開所以来、24 カ国 69 人の難民申請者等を受け入れてきました。一人ひとりに寄り添い、自立への道を模索してきました。し

かしながら、日本の難民認定制度の大きな壁に共に苦しみながらの日々でした。今年6月に可決された改正入管法によって、その壁がより一層高くなりました。

新型コロナウイルス感染症の影響にあった入国制限も緩和され、世界的に難民が増加しています。

日本も例外ではなく、今年は過去最高の難民認定申請になるのではと予想されています。希望をもって来日した日本でホームレスになる難民認定申請者も増加しています。可能な限り受け入れるようにしていますが、現状では全てのリクエストに応えていません。

連日報道されるイスラエル軍によるパレスチナのガザ地区への武力侵攻。長年パレスチナを取材され、映画をとられた古居みずえ監督をお招きし、2回に分けて映画会を開催しました。

アルペなんみんセンター事務局長 有川 憲治

日本に逃れてきた難民と連帯する 「鎌倉なんみん共生フォーラム」開催報告

かながわ民際協力基金
助成事業



第4回鎌倉なんみん共生フォーラム（2023年9月）

地域の様々なセクターの連携により、日本に逃れてきた難民と連帯する「鎌倉なんみん共生フォーラム」の第3回会合が、2023年7月25日にカトリック雪ノ下教会（鎌倉市）のホールで開催されました。

第1部の学習会では、「難民との地域共生～難民・移民フェスを立ち上げて～」のテーマで高谷幸さん（難民・移民フェス実行委員会）から基調講演をいただきました。参加者からは、高谷さんの取り組みに刺激を受け、鎌倉でもローカル版難民・移民フェスができないかなどのアイデアが出ました。

第2部の意見交換会では、今後のフォーラムの組織・運営のためにフォーラム運営委員会の設置が提案されました。委員長に佐渡友哲さん（アムネスティ・インターナショナル鎌倉グループ代表）、委員として長嶋裕子さん（鎌倉ユネスコ協会理事長）および漆原比呂志（アルペなんみんセンター地域連携コーディネーター）の3名の委員が選出され、事務局をアルペなんみんセンターが担当することになりました。

2023年9月18日には第4回フォーラムが開催（同会場）され、44名の会場参加と多数のオンライン視聴参加がありました。

第4回の学習会では、基調講演としてNHK専門解説委員の二村伸さんに「増え続ける世界の難民と私たちの役割」というテーマでご講演いただきました。

日本と世界の難民受け入れの歴史と現状について聞き、私たちができることについて具体的な提案もありました。ドイツの支援団体による「何をし
てあげるかでなく、いかに（難民の方々の）才能を伸ばすか」という提言が紹介され、第2部の意見交換会では会場から共感する声があがり、日本語学習支援やコーラスグループへの参加など、現在地域で実際に取り組んでいることの意義について共有されました。

フォーラム運営委員会からは、今後フォーラムが鎌倉市やUNHCRと連携していく方針のもと、団体や個人に対してフォーラムへの正式な賛同を呼びかけました。今回の呼びかけに際しては、6団体、個人32名（2023年12月2日現在）の賛同をいただきました。

また、今回のフォーラムでは逗子、藤沢、横浜、茅ヶ崎など鎌倉の近隣各地や東京都などからも多数の参加があり、鎌倉地域をコアにしながら、難民支援の輪が少しずつ広がっています。

11月24日、12月8日、2024年1月13日になんみん映画会、2月28日からはウクライナ写真展も企画しています。フォーラムはこれからも運営体制を整えつつ、地域における難民との連帯を深めていきます。フォーラムへの団体・個人として賛同のご登録をぜひお願いいたします。

地域連携コーディネーター 漆原 比呂志



鎌倉なんみん共生フォーラム
賛同へのお願い
(アルペホームページ)



秋ナスの思い出

幼稚園年長に入ってから、日常的に日本語に触れた M ちゃん。小学校の「あい
うえお」や「いちにさん」はハードルが高く、音と文字と意味をつなげるのに大変な
努力を必要とします。2年生に進級するにあたり、少しでも学びの遅れを取り戻せる
ようにと、奨学金で学習塾に通うことになりました。

さて、猛暑続きの9月のはじめ、M ちゃんは塾に行きたくないと言い出しました。
その理由は「M ちゃん、つかれている…」でした。どうしても塾に行ってほしい私は、「シスターも疲れて
いるよ。ママも疲れているよ。みんな疲れているけど、がんばっているよ」と励ましたつもりでいました。
その会話の後で M ちゃんが台所に現れ、お手伝いをしてくれました。ナスを洗って切ってくれました。マ
マに聞くと、お洗濯も M ちゃんがかって出てくれたとのこと。それを聞いて私は、感動のあまり涙が出そ
うになりました。読み書き計算より、人間にとって大切な能力を持っているではないか…と。そう、人を
思いやる心です。そんな M ちゃんの働きのあったその夜に、たくさんのナスが届けられました。

調理担当 津田 和加子

コングレガシオン・ド・ノートルダム修道会会員



ウクライナ相談業務から見る避難民の変化

日本財団ウクライナ避難民支援
助成プログラム

2023年4月27日に神奈川県、公益財団法人
かながわ国際交流財団とアルペなんみんセンター
は、ウクライナ避難民支援に関する連携協定を結
び、自治体と協働させていただいています。日本
での生活も2年目に入り、避難民の方々の変化に
驚かされる毎日です。

来日した当初は、日本語を一言も理解できず、
多くの避難民の方々は受け入れ自治体に辿り着い
ても、母国に残されたご家族を案じ、戦争の状況
も見えぬまま、不安な日々を過ごしていました。日
本に定住するという覚悟もできず、言われるがまま
に避難民申請や役所、銀行の手続きを済ませ、異

国で日々生きるためにどんな支援が受けられるか
を推し量り、言語の壁から自ら就労する気力も出
ない時期がありました。しかし、猛暑を乗り越えやっ
と日本での生活にも慣れた昨今、支援だけで生き
ていくより、日本で自立して生きていかなくてはと
いう気持ちを持つ方が増えてきたように感じます。
日本語学習にも多くの方々が意欲的に取り組んで
います。

様々な方々の協力で、定期的に交流会を実施し
ています。引き続き、日本での安定した避難生活
ができるよう、寄り添っていく所存です。

ウクライナ・デスク 石川 奈津子

飯田商店 / アルペ・ウクライナ交流会



2023年11月22日 協力：らぁ麺 飯田商店

BAT ジャパン / アルペ・ウクライナ交流会



2023年7月7日 協力：BAT (プリティッシュ・アメリカン・タバコ) ジャパン

アルペ小金井センター報告



アルペ小金井センター 連絡先
koganei@arrupe-refugee.jp

小金井で活動を開始し、早くも8ヶ月がたちました。鎌倉から小金井に移ったSさんと子どもたちに加え、東アジア出身のJさん、アフリカから到着したばかりのBさんを迎え、聖霊会のシスター2人を合わせて8人の所帯となりました(2023年12月現在)。一人ひとり持ち味を生かした私たち家族に、日本語学習、料理や買い出し、子ども支援、庭掃除などのボランティアさんが加わって、豊かなふれあいの場になっています。

来日して1年を迎えたSさん家族は、驚くほど日本語が上達し、それぞれの世界が広がり始めています。小金井での暮らしが順調な一方で、祖国の情勢は悪化するばかり。故郷の少数民族の村が襲撃され、Sさんの両親は別の山に逃げ、1か月近く連絡が途絶えました。気丈にしていたSさんですが、ようやくお母さんと連絡がとれた夜、肩を震わせ、安堵の涙を流し続ける姿に、家族と別れ、難民とならざるを得なかった痛みが伝わってきました。村では物価が高騰し、食料も医薬品も手に入らない状況が続いています。彼女が現地に送金した1万円で、4家族の1週間分の食料を買えたお、お母さんからお礼と写真が届きました。弾圧され続けるSさんの祖国の人々のため、治安と平和の回復のために、私たちに何ができるか考えさせられています。

アルペ小金井センター センター長 松浦 由佳子

もっと知りたい アルペ

ホームページ

「アルペなんみん」で検索。お知らせ、活動報告等を掲載しています。



YouTube

活動紹介動画等を配信しています。



Facebook

お知らせ、活動報告等を掲載しています。



Instagram

日本の難民問題についてわかりやすく手軽に学べるよう発信を始めました！



ご寄付のお願い

アルペなんみんセンターは、皆さまのご寄付によって支えられています。ご支援をお願いいたします。

● ホームページからご寄付 (クレジットカード、銀行振込)

アルペなんみんセンターのホームページから、クレジットカード、銀行振込でのご寄付が可能です。クレジットカードの場合、継続寄付もお選びいただけます。



● 郵便振替口座でのご寄付

【口座番号】 00250-6-107205

【加入者名】 NPO 法人アルペなんみんセンター

NPO 法人 アルペなんみんセンター

〒248-0001 神奈川県鎌倉市十二所 80 Tel 0467-55-5422 info@arrupe-refugee.jp
アルペ小金井センター koganei@arrupe-refugee.jp https://arrupe-refugee.jp

発行日 2023年12月10日